

移動等円滑化評価会議東北分科会 意見交換会(青森県・岩手県・秋田県)の 開催について

1. 意見交換会の概要

- ・移動等円滑化評価会議東北分科会にてご意見として開催要望のあった、「各県ごとの意見交換会」について、青森県・岩手県・秋田県の3県合同で令和7年12月5日に開催した。
- ・障害者団体等の委員の他、バリアフリープロモーターにもご参加いただき、移動等円滑化に関する取組やご意見についてご報告いただいた。

2. バリアフリープロモーターの取組

八戸工業大学 感性デザイン学部 安部 信行 教授

視覚障害者 雪道歩行の課題と解決策に関する研究

- ・2022年に実施、回答者145名のうち過去5年以内に歩行事故を経験した方は約3割（43名）、うち雪道での事故は11件、うち怪我を伴う重大事故は6件発生
- ・雪の多い青森市で全盲の方を中心にヒアリングし、足を取られやすく方向感覚も低下する「ザラメ雪」が最も歩きにくい雪質という調査結果
- ・課題として、歩道除雪の遅れ、当事者の歩行訓練の必要性が挙げられた。
- ・GPSで位置情報を拾い、ナビゲーションアプリも連動させ音声案内するシステムの「あしらせ」等を雪道歩行へ応用する技術展開が必要

特定非営利活動法人 秋田バリアフリーネットワーク 茂木 聡 理事

冬を考慮したバス停留所の提案と製作

- ・幅約3m・高さ約2.3m・構造はスチールで、壁・天井はポリカーボネート製の透明バス停を製作・設置
- ・「安全・安心・快適」をテーマに、53名から意見聴取
- ・透明な構造、建物の大きさについて約8割が「良い」と評価
- ・秋田市内4箇所に設置し、防風・防雪効果で好評
- ・課題は設置スペースの確保と財政面。バス乗り換え増加に伴う待合環境の整備が急務

3. ご意見等

自立生活センター Pingあおもり 白戸 駿平 委員

- ・パーキングパーミットの周知継続、UDタクシー乗車拒否への対応の必要性、路面を削りにくい除雪車の開発・支援、消雪装置増設の必要性、横断歩道橋へのエレベーター・スロープ設置等のバリアフリー化推進を要望

一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会 三浦 拓朗 委員

- ・岩手県のパラスポーツ事業は、インクルーシブな視点のもと障がいのない方の参加が増加している一方、参加総数は横ばいが続いており、その主な要因は、障がいの重度化・高齢化による運転免許返納等で、外出が困難になっていること、コロナ禍・物価高騰の影響で、市町村による送迎サービスが低下していることが考えられ、課題解決には、自宅から各種施設へのきめ細かな交通サービスの充実が求められる。

一般社団法人青森県ろうあ協会 山越 亮子 委員

- ・バス接近情報アプリの周知不足、聴覚障害者マーク（蝶々マーク）の普及不足、「手話リンク」の各所への導入要望、緊急車両接近を光で知らせる仕組みの必要性

社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会 伊藤 英紀 委員

- ・優先席の適正利用はポスター等での啓発だけでなく、実際に伝えることが重要
- ・老人クラブ等での意識醸成と実践が必要

秋田県 交通政策課

- ・よりコンパクトで使いやすい交通手段への転換を推進しているが、コミュニティ交通のバリアフリー車両導入には課題があり、その支援の継続・拡充をしていただき、車両のバリアフリー化率を向上していくことが必要と考えている。

青森県 地域交通・連携課

- ・市町村のコミュニティ交通課題に対し、相談対応やアドバイザー派遣を行っており継続して行っていく。